

子育てQ&A「令和8年4月16日（木）2歳児学級 開講式」

【子育てQ&A】

Q：全く喋らない。3歳までは～と言われるのが気になる。（2歳1ヶ月）

言葉が遅いのは少し不安。（2歳4ヶ月）

A：言葉の発達については個人差があります。言葉の発達を促すには、いろいろな経験をすることが大切です。公園などで元気に身体を動かしたり、アンブレラなどでたくさんの人と触れ合ったりするのもとても良いと思います。お家であれば絵本のよみきかせや一緒に歌を歌ったり、触れ合い遊びをしたりするのもおすすめです。もう一つ大切な事として、食事の時のお口の使い方はどうでしょうか。早食いや丸のみになっていませんか。ゆっくりもぐもぐと噛んで食べることはお口の機能の発達にもつながります。「もぐもぐ」などの声かけや食材の大きさや硬さについて、一度見直してみてください。アンブレラはもちろん、保健センターやつくこ教室でも相談はできます。心配な時はお気軽に声をかけてくださいね。

Q：落ち着きがない、ずっと走りまわっている。（2歳4ヶ月）

A：体が発達してきて、行動範囲も広くなり動きも激しくなってきますね。親が思っているようにこどもの動きを制限するのがだんだんと難しくなってくるものです。長時間、じっとして過ごすことはまだまだ難しいと思います。また、人が多かったりいつもと違う場所だったりすると少し興奮気味になるかもしれませんね。まずは、とにかく身体をたくさん動かす機会を作ってみてください。おもいっきり身体を動かすことで気持ちが満たされて、落ち着いて行動できることも増えてくるかと思います。また、「おやつを食べ終わるまでは、絵本が終わるまでは座っていようね」などと時間の見通しを伝えてみるのも良いと思います。年齢的に動きも激しくなりママと一緒に遊ぶのは楽しい時期でもあり大変な時期でもありますね。公園へでかけるのもよいですし、アンブレラにもぜひ遊びに来てくださいね。

Q：オムツの卒業の練習をしています。こどもがスムーズにトイレに一人で行ける方法がもしあれば教えていただくと助かります。（2歳5ヶ月）

A：季節的にもトイレトレーニングに取り組むよい時期ですね。トイレはとにかく焦ってはダメです。そして急にできるようにはなりません。トイレに行けても行けなくても出かける前やお風呂の前など「トイレ行ってみよ」と声をかけてみましょう。嫌がることもあると思います。そんな時は無理には連れて行かず、根気よく声をかけましょう。トイレに好きなキャラクターの絵を貼ったり、便座に座った時に足がつくように踏み台を用意したり環境を整えるのもよいですね。最近はショッピングモールなどにかわいいこども用のトイレなどもあり、いつもと環境の違うトイレも効果的だと思います。また、バンビーニにも幼児用のトイレが設置してあります。トイレを利用しているお友達の姿を見るのも刺激になると思います。成功の方法はひとそれぞれ違います。いろんな方の話を聞いていろいろ試し、根気よく進めましょう。そして上手くいった時はとにかくたくさん褒めてください。上手くいなくて当たり前、上手くいったらラッキー！！という気持ちで取り組みましょう。

Q：集団行動ができない。周りと同じ行動が取れない。(2歳4ヶ月)

A：2歳を過ぎると自我が育ち、自己主張や興味の対象がコロコロと変わる時期です。自分のやりたい事がある場合、なかなか周りに合わせるのが難しい事もあると思います。また、普段と違う場所や環境でいろんなものに興味がわき自分の中での楽しみを見つけられているのかもしれませんが、学級での活動時もしかしたら参加できない時があるかもしれませんが、焦らず見守っていくことも大切です。学級に参加できなくても大丈夫です。”その場に参加している” ”みんなで何かやっているなあ” そんな空気を感じることが大切です。もし、心配なことがある場合はアンブレラや保健センターでもお話できます。お声かけください。

Q：ご飯を集中して食べれない。量も少ない(2歳7ヶ月)

A：食事時の環境はどうでしょうか。テレビがみえる席だったり、おもちゃが目に入る席だったりしていませんか。他のものが気になると食事に集中できないこともあると思います。その他、おやつはどうでしょうか。内容や食べる時間も見直してみましょう。しかし、食べる量については個人差があります。たくさん食べることがいい事ではありません。お皿に盛る量を食べきれぬ量にし、「全部、食べれた！！」という達成感をママと一緒に味わうことで食事が楽しいという気持ちにつながると思います。基本的にお腹が空けば食べたくなると思います。散歩や体をいっぱい動かして遊ぶのも良いと思います。

Q：家事ができなくてYouTubeをみせると、話しかけても声が届かなくなる。

ご飯もお風呂もイヤイヤになるときがある。

遊ば遊ばが多いけど色々やらなきゃ遊べない時の対応。パパがいる時はパパと遊んでほしいのにママがいないってなってしまう・・・(2歳4ヶ月)

A：一般的に長時間の動画の視聴が良くないと言われる理由として、脳への影響(言語等の遅れ)、視力低下、依存性などがあげられます。特に Youtube は次から次へと動画が流れ、依存性が高くなるように作られています。”動画がないと待てない”という状況になってしまわないよう、動画でない方法で過ごせる方法を探してみましょう。今後もう少し大きくなってから見る機会がある場合は、見る時間を決めるなど上手に活用できるといいですね。

また、1歳の時と比べ2歳になると癩癩やイヤイヤは激しくなります。対応に悩むころですね。また、ママがいいというのも忙しいママにとっては”なんで～…”という気持ちになりますね。しかし、こども達はママのことが大好きですし、ママと一緒にやりたい、ママに見ていてほしいという気持ちでいっぱいです。常にこどもの要求に応えるのは難しいですが、”今日は1日一緒にあそぶぞ！” ”ご飯までのこの時間は一緒に過ごそう” とお子さんと向きあう時間を作ってみてください。ママと過ごす時間が増えることで気持ちが満たされママの要求も伝わるが増えるかもしれません。とは言え、家事に育児に毎日忙しいですね。ゆったりと向きあうなんて実際に無理！！正直な気持ちですね…。しかしあえてそんな時間を作ってみてください。ぜひ、アンブレラに遊びに来てくださいね。